

環境経営レポート

2024年度

活動期間 2023年11月1日～2024年10月31日

作成日:2025年1月16日

項目

1. 事業活動の概要
2. 環境方針
3. 実施体制
4. 環境目標・実績と今後の取組
5. 環境活動実施計画書
6. 環境取組結果と評価
7. 環境関連法規への違反・訴訟の有無
8. 代表者による全体の評価と見直し



環境改善にチャレンジする
有限会社 明成産業

1.事業活動の概要

社名 有限会社 明成産業

代表取締役 石川 光夫

住所 〒424-0065

静岡県静岡市清水区長崎542番地

TEL 054-347-3955

創立年 1995年(創業より27年)

法人設立 1995年3月20日

資本金 300万円

従業員 10名

環境管理責任者：石川弘章(担当者連絡先 上記住所に同じ)

車両 塵芥車 2.5t積 4台 キャブオーバートラック 1台

塵芥車 5.1t積 1台 軽貨物トラック 2台

脱着装置付コンテナ車 1台 その他 4台

営業種目 一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬・再生資源の回収

許可番号 ・静岡市 一般廃棄物収集運搬許可 第 10032号

許可の年月日 令和4年4月1日、有効年月日 令和8年3月31日

・静岡県 産業廃棄物収集運搬許可 第 2201033771 号

種類 廃プラ(水銀含む)、金属くず(水銀含む)、
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(水銀含む)、がれき類、
汚泥、廃油、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣

許可の年月日 令和2年10月11日、有効年月日 令和7年10月10日

・金属くず商 静岡県公安委員会 許可 静岡 第 291 号

許可の年月日 平成10年5月13日

・自動車商 静岡県公安委員会 許可 静岡 第 1872 号

許可の年月日 平成10年5月13日

事業規模	活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	売上高	万	9,350	10,201	10,600	10,600	10,700
	一般廃棄物収集運搬量	t	1,766.0	1,816.1	1,867.8	1,921.7	1,847.8
	産業廃棄物収集運搬量	t	99.5	130.2	104.1	89.1	85.5
	再生資源収集運搬量	t	689.2	714.7	711.6	712.6	690.7

エコアクション21の対象範囲

全組織、全活動が対象

2. 環境経営方針

1. 一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬事業活動に於いて環境に常に配慮し、継続的改善に努めます
2. 環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します
3. 重点環境管理テーマとして次の4点を取り組みます
 - ① エコドライブ CO2の排出量削減
 - ② 行動基準を策定し作業内容の改善をはかり廃棄物の排出量削減をはかる
 - ③ 環境保全活動への積極的参加で社会貢献する
 - ④ グリーン製品の購入の促進

上記方針を全従業員に周知徹底し実現を図る

2006年 8月 21日 制定

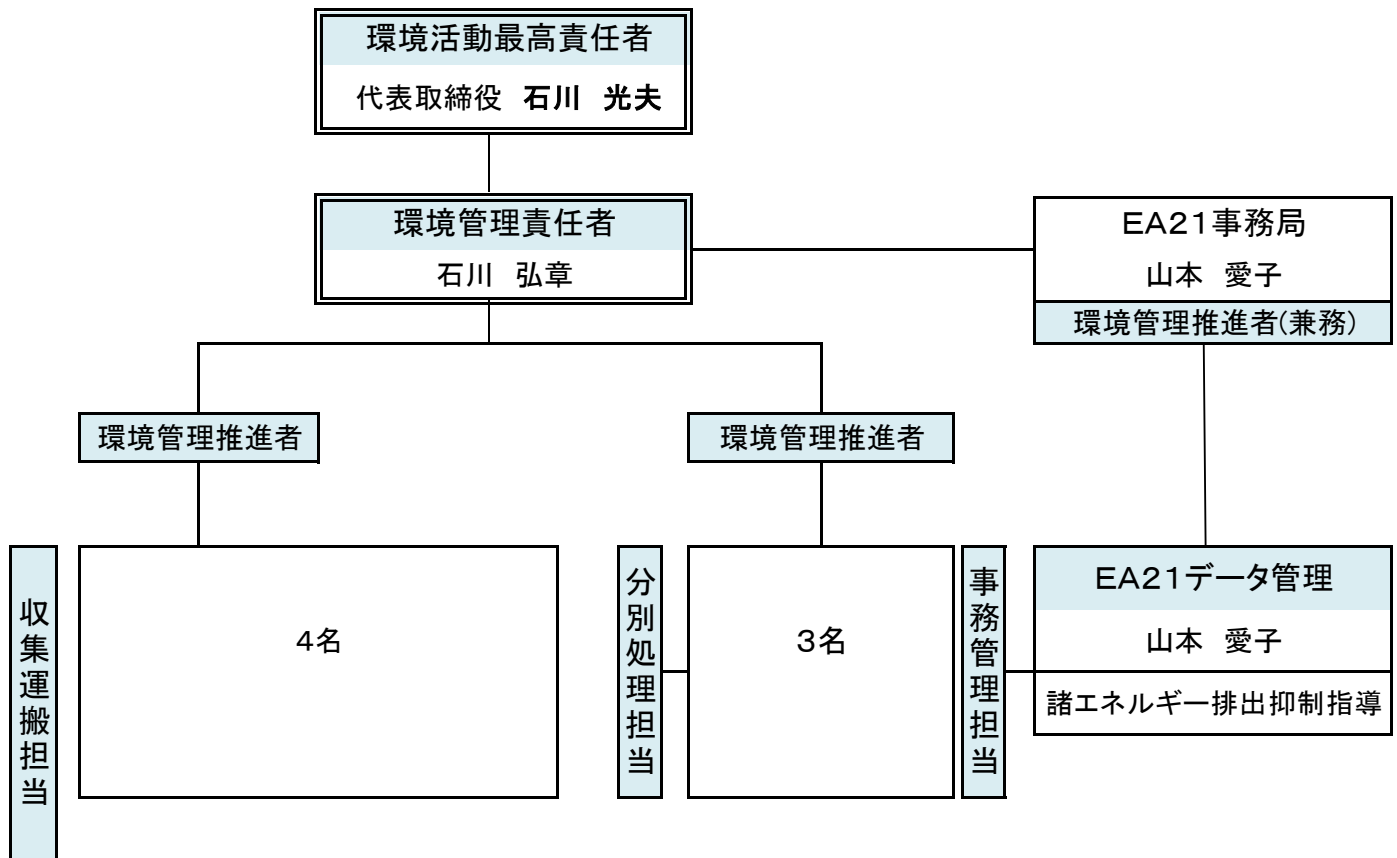
2015年2月 25日 改定

有限会社 明成産業

代表取締役 石川光夫

3. 環境経営システム 実施体制

具体的な取り組み



主な役割

環境活動最高責任者

- ・ 環境方針の制定及び改定、環境管理責任者の任命
- ・ システム全体の評価と見直しをする
- ・ 経営における課題とチャンスの明確化

環境管理責任者

- ・ 環境方針、環境目標に沿って活動実施計画書を策定
- ・ 実施状況を最高責任者に報告する
- ・ 環境に関わる情報を適宜、周知してゆく
- ・ 苦情の対応
- ・ 目標達成のための、啓発とフォロー

事務局

- ・ 環境管理責任者をサポートする
- ・ 要望やその対応の記録をする
- ・ グリーン商品の積極購入、クールビズ、ウォームビズの推進
- ・ データ収集、関係文書の保管、管理

環境管理推進者

- ・ この活動の重要性を理解し、環境方針環境目標に基づいて各々の部門の活動目標を実施する
- ・ 段ボール、ペットボトル、等再生可能品目について分別する
- ・ 収集されたアルミ・スチール、瓶の識別の選別、
- ・ 車両整備・点検記録、収集ルート効率化

4-1. 環境経営目標及び実績

(1) 単年度目標

(A) 二酸化炭素排出量

事業年度		2022年度(実績)		2024年度目標	2024年度実績	評価判定
		基準値				
		2021年11月～ 2022年10月		2023年11月～ 2024年/10月		
二酸化炭素排出量 合計	kg-CO2	107828	106750	105176.81		○ (-2.5%)
	2022年度比削減目標(%)		-1.0			
電気使用量	KWh	7018	6948	6091		○ (-13.2%)
*排出係数 0.406	2022年度比削減目標(%)		-1.0			
ガス LPG	Kg	55.89	55	50		○ (-11.12%)
	2022年度比削減目標(%)		-1.0			
軽油	L	38538.7	38153	37420		○ (-2.91%)
	2022年度比削減目標(%)		-1.0			
ガソリン	L	2319.81	2297	2591		× (+11.68%)
	2022年度比削減目標(%)		-1.0			
灯油	L	0	0	不使用		○ (0%)
	2022年度比削減目標(%)		±0			

(B) 廃棄物と水資源使用量

事業年度		2022年度(実績)	2024年度目標	2024年度実績	評価判定
		2021年11月～ 2022年10月	2023年11月 ～ 2024年10月		
一般廃棄物排出量	kg	240	排出量管理	240	○(100%)
	2022年度比削減目標(%)		—		
水資源使用量	m³	220	使用量管理	189	○(85.9%)
	2022年度比削減目標(%)		—		

注)「廃棄物排出量」「水資源使用量」は、少量で削減困難なため、目標を「量把握」としている。

(A)と(B)の中期目標

項目	単位	基準年度	目標年度		
		2022年度	2025年度	2026年度	2027年度
		2021年11月～ 2022年10月	2024年11月～ 2025年10月	2025年11月～ 2026年10月	2027年11月～ 2026年10月
二酸化炭素排出量	Kg-Co2	107,828	-1.5%	-2.0%	-2.5%
電気使用量	KWh	7,018	-1.5%	-2.0%	-2.5%
ガス LPG	Kg	56	-1.5%	-2.0%	-2.5%
軽油	L	38,538	-1.5%	-2.0%	-2.5%
ガソリン	L	2,320	-1.5%	-2.0%	-2.5%
灯油	L	0	-1.5%	-2.0%	-2.5%
一般廃棄物排出量	kg	240	排出量管理	排出量管理	排出量管理
水資源使用量	m³	220	使用量管理	使用量管理	使用量管理

(C) グリーン商品購入

	評価判定
・事務用備品はグリーン商品100%を目指す	○
・コピー用紙の再生紙及びミスプリントの裏紙積極使用	○
・複数ページは両面印刷する	○
・省エネ対策、グリーン文房具の積極購入	○
・ミスプリントの無駄を無くすため印刷前の内容確認	○
・プリンターのインクはリサイクルトナーを購入する	○

(D) 受託した廃棄物の収集運搬処分における環境配慮及び産業廃棄物の削減

	評価判定
・アイドリングストップ機能の積極利用で燃費の改善	○
・無駄な走行を無くすため運行経路の最短化の検討	○
・収集漏れによる往復走行の防止のため収集リストのチェック	○
・リサイクル可能な廃棄物の分別化	○
・排出業者への廃棄物の分別協力要請	○

(E) 業務環境の改善

	評価判定
・停車時の無駄なアイドリングを避け騒音、振動の防止の徹底。	○
・トラックの粉塵、飛散の防止のため少量の荷物でも飛散防止マットを使用する。	○
・積み込み時の騒音防止の徹底。	○
・散水装置の利用、定期的に場内の散水を行う。	○
・近隣の定期的な点検、清掃活動の実施。	○
・県組合が運営するドライバーズマナー企画の参加	○
・火災、爆発事故の防止のため消火器の点検、防火用水の設置、危険物混入の確認	○

4-2 問題点の原因及び是正予防処置

(1) 環境目標全体

項目	評価結果
二酸化炭素排出量	ガソリンが唯一目標達成できなかったが、軽油が目標達成できているので全体では目標達成できた。

(2) 環境目標の未達成項目

未達成項目	是正処置結果
ガソリン 使用量	原因 ガソリンを燃料とする軽トラックでの仕事量が本年度も増加により走行距離が増加し、ガソリンの購入が増加した。しかし、燃費は23年度が10.2Km/ℓ、24年度は10.79Km/ℓでし 処置 仕事量の増加による、走行距離の増加とガソリン給油量の増加は仕方がないが、今後

5-1 環境経営計画の実施結果

活動期間（2023年11月～2024年10月まで）

取組目標																	2024年度結果										評価判定		
① 軽油 ガソリン 1.0%削減																											2024年度		
		責任者	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月															
	安全運行	石川	安管だより等の情報の告知 毎月ミーティング時に対策を打ち合わせ実施 事故ゼロを目指した エコドライブの情報の周知 運転前アルコールチェックの実施														○												
	運行効率		各自の収集運行ルートの見直しを実施 アイドリングストップの励行														○												
	点検整備		油脂類の補充 各運転者に指示 ミーティング時に用紙を渡す														○												
② 電気使用量 1.0%削減																	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
	エアコン	山本	設定温度の表示 3月と9月にフィルター点検 換気をしながらの夏季28℃冬季19℃へ設定														○												
	照明器 電気製品の待機電力 SW切		事業所不在時、退社時に照明・電気製品のSW切を実施、 休み時間に消灯し外光取り入れを実施 待機電力の SW 切														○												
	ベルトコンベア	望月	仕分け時に缶を貯めてから流す様に細目に電源on/offを実施。 ベルトコンベアの故障のため7月から9月まで故障のため手作業で実														○												
2. 廃棄物排出量																													
① 作業環境整備		石川	整理、整頓、清潔の標語表示 作業後の清掃の励行 夏季、冬季の休暇入りの前に総点検														○												
② ムダを無くす		石川	簡易包装、 FAXの無関係先のブロックの継続 グリーン商品の購入を勧めた。														○												
3. 水資源の使用量																													
① 洗い方の工夫		石川	ため洗いに徹する（流し洗いしない） 蛇口に注意表示 表示の汚れ点検（6ヵ月毎） 取れるごみはほうきで回収し最終で水洗いした。														○												
② 蛇口水漏れ防ぐ																													
③ 洗車の効率を上げる																													
4. 環境教育の推進																	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
		石川	取組目標と活動 (1) 月次ミーティングを適宜実施 一方通行でなく話し合いの実施 (2) 一廃組合、産廃協会、市役所の環境活動への参加 收拾運搬者へのミーティング等で伝達 (3) スローガン等を事務所に表示するとともに、車両に常備 (4) 3月入社の社員に個別指導														○												

5-2 次年度の環境経営活動計画表（2025年度）

活動期間（2024年11月～2025年10月まで）

目標の基準年度は2022年度

1. 二酸化炭素の排出量 2025年度目標：106210.5kg-CO2（-1.5%）																
取組目標				2025年度計画												
① 軽油 ガソリン 1.5%削減																
		責任者		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
	安全運行	石川	安管だより等の情報の告知 毎月ミーティング時に対策を打ち合わせ エコドライブの情報の周知 アルコールチェックの実施													
	運行効率		各自の収集運行ルートの見直しを図る アイドリングストップの励行（シムによる意識の向上）													
	点検整備		油脂類の補充 各運転者に指示 ミーティング時に用紙渡す													
② 電気使用量 1.5%削減				11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
	エアコン	山本	設定温度の表示 3月と9月にフィルター点検 換気をしながら夏季28℃冬季19℃に設定													
	照明器 電気製品の待機電力 SW切	山本	事業所不在時、SW 切、外光の取り入れ、各 SW に表示 休み時間、退社時消灯、各 SW に表示 待機電力の SW 切													
	ベルトコンベア	望月	アルミとスチールの仕分けの時のベルトコンベア必要最小限にとどめる													
2. 廃棄物排出量 排出量監視																
① 作業環境整備		石川	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
			整理、整頓、清潔の標語表示 清掃の励行 夏季、冬季の休暇入りの前に総点検													
② ムダを無くす		石川	簡易包装、 FAXの無関係先のブロック グリーン商品の購入を勧める。													
3. 水資源の使用量 使用量監視																
① 洗い方の工夫	石川	ため洗いに徹する（流し洗いしない）														
② 蛇口水漏れ防ぐ		蛇口に注意表示 表示の汚れ点検（6ヵ月毎）														
③ 洗車の効率を上げる		取れるごみはほうきで回収し最終で水洗いする。														
4. 環境教育の推進																
		石川	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
			取組目標と活動													
			(1) 月次ミーティングを適宜実施 一方通行でなく皆の意見を取り入れる													
			(2) 一廃組合、産廃協会、市役所の環境活動への積極参加 協会・組合の研修会にはできるだけ出席し新情報の収集に努める ミーティングに情報を伝える													
																(3) スローガン等を事務所に表示するとともに、車両に常備

前年度計画を継続する

前年度計画を継続する

6、環境活動の取組結果の総合評価

項目	評価	取組結果	対策及び評価
電力	○	電力1(単三100V)はエアコンの温度調整、照明の細目な消灯で昨年より減少できた。 電力2(動力200V)はベルトコンベアーのON・OFFを細目にし更に減少したが故障の為7月から9月は仕分けは手作業で実施した。	左の項通り 異常気象が続いているが取り組みは継続する。 電力2(動力200V)に対しても削減の活動を継続する。 新規導入のコンベアが作業時常に回転しておかないといけけないので電力2(動力200V)の使用料の上昇が懸念される。
ガスLPG	○	必要最低限の利用ができた。	今後の活動も維持継続とする。
軽油	○	トラックの回収箇所の一部担当の変更を実施 日々の運行管理及び担当ドライバーの記録、点検 アイドリングストップ機能の利用	効率の良い運行を継続する 車両の日常点検
ガソリン	×	アイドリングストップの厳守、日々の運行記録による管理の実施。結果は目標達成できなかったが、燃費は10.3から10.8になった。	軽トラック使用が担当者の仕事の増加で多くなった。 廃棄物の回収時はエンジンを必ず切るようにする。 ふんわりスタートのエコドライブを継続する。
廃棄物	○	不要物を持ち込まない。	今後の活動も維持継続とする。
水	○	仕事内容が昨年と変わり、洗車回数が減少したので水の使用量が減少した。洗車時の排水は敷地外には排水されないようにしている。	今後も同様に洗濯はまとめて実施する。 車の洗車時に水の使用を抑えた洗い方を実施する。 今後も汚れがひどい時は組合の共同洗車場を使用する。
グリーン購入	○	プリンターのリサイクルトナーの購入 ミスプリントの裏紙をメモ用紙として利用	100%のグリーン購入。購入前に担当者確認。
環境配慮	○	近隣に迷惑かけぬよう努力する ペットボトル処理時の廃液の処理を確実に実施	継続する。
生活環境	○	ドライバーズマナー講習会の参加 地域の清掃活動、リサイクル展の積極参加	全員参加の周知

7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反訴訟などの有無

1. 環境関連法規の遵守状況確認

2025年1月12日現在、下記とりまとめ表により確認した結果違反は有りません。

環境関連法規とりまとめ表

	法律・条例・規則	対象	確認内容	遵守状況
一般廃棄物 産業廃棄物 収集運搬業	廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	収集運搬業許可の更新・変更届	許可の更新を実施	○
		委託契約書の締結	契約内容の確認	○
		マニフェストの運用	各票を適正に処理	○
		管理・保管	関係票を5年間保管	○
		不法投棄の禁止	不法投棄を行わない	○
		廃棄物の悪臭・飛散防止	適法運送・カバーをかける	○
	静岡県・静岡市 産業廃棄物の適正 な処理に関する 条例	産業廃棄物適正管理 水銀使用製品の取集運搬	条例の遵守	○
事業者全般 として遵守 する法律	環境基本法	公害防止・自然環境保全	エコアクション21への 積極的取組	○
		廃棄物の適正処理		
		再資源等の利用		
	循環型社会形成 推進基本法	廃棄物の発生抑制	4Rを努力する	○
		循環的利用	不要・減量・再使用・資源利用	
		適正処分		
	地球温暖化対策 推進法	温室効果ガス発生抑制	エコアクション21への 積極的取組	○
		国・地方自治体の施策に協力		
	グリーン購入法	環境物品の購入	紙・文具・OA用品等 環境物品を選択購入	○
	消防法	火災の予防	パッカー車・事務所の火災予防	○
浄化槽法	浄化槽の保守点検及び清掃	保守点検及び定期清掃の実施	○	
	指定検査機関による検査の実施	法定検査の実施(1回／年)	○	

2. 違反・訴訟等の有無

- ・ 当社にかかわる環境関連法についての違反及び、他者からの訴訟等はありません。なお関係当局よりの指摘もありません。
- ・ 地域住民及び、関連する機関等からも、苦情はありません。

8、代表者による全体の取組評価・見直し・指示

代表者による見直しと指示項目

	項目	見直しと指示
1	環境経営目標及び目標達成状況	目標達成、ガソリンのみ未達、目標値を-1.5%に変更
2	環境経営計画及び運用実施状況	継続して取り組みます。
3	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	遵守できたので継続してゆきます。
4	外部からの環境に関する苦情や要望	外部からの苦情・要望無し、継続して取り組みます。
5	問題点の是正・予防措置	問題ありませんでした。
6	実施体制	変更はありません。
7	エコアクション21文書	文書・記録として作成しました。変更ありません。

代表者のコメント

仕事の増加や役割の変更等で、ガソリンの実績が増加している
車両を入れ替えたことにより本年度も軽油の使用量は増えたものの目標値内になっているので
全体への目標達成になっていると思います。
各自が活動計画による取り組みをを意識して、日々の活動を意識していきます。

2025年1月16日

代表取締役 石川 光 夫